

学校だより 緑地つ子

明けまして おめでとう ございます！！

2024年が始まります。今年もよろしくお願ひ致します。今年も(は?)良い年にしたいですね。ということで、今回はまず、「目標は大きく」です。

A decorative horizontal border consisting of a repeating pattern of diamond shapes.

昨年末、ある子どもと話をする機会がありました。その子はあるスポーツの練習に、日々、頑張っているとのことです。その子に私から質問をしてみました。

「目指すところは？」

「日本一。」

「すごいね～。でも、どうせやるんだったら、もっと上を目指そう。世界一を目指しなさい。」

「うん、分かった。」

次の日、またその子と話をしました。そして、同じ質問をしてみました。

「目指すところは?

「世界一。」

「それでいい。

やはり、同じやるんだったら、上を目指した方がいいに決まっています。あの大谷翔平選手もWBC前には「今まで一番しか目指したことがない。」と言っていました。

まず、最高の結果を決める。そこから逆算して、そのためには何をしなければならないかを考える。子どもたちには、このように考え、行動していくってほしいと思います。

さあ、新しい年が始まっています。もし、今年の目標が決まっていない人がいれば、すぐに目標を決めましょう。誰からも「そんなん無理やで。」と言われる目標でも構いません。目標が決まっていなければ、その1年が良かったのか悪かったのか分からなくなるからです。1年はあっと言う間かもしれません。しかし、そのような積み重ねを10年、20年と続けることができれば、10年、20年後には、自分でも想像もできなかった自分になっている可能性があるからです。

私は、子どもたちには期待しかしません。子どもたちは、大人から認められ期待されることで、やる気を出してくれると思っているからです。

緑地小学校の皆さん、まずはこの1年、悔いのない、思い出に残る1年にしてください！保護者の皆様も、子どもたちへの応援をよろしくお願ひ致します！

◇校長のつぶやきコーナー

皆様は、山際寿一という方をご存知でしょうか。ゴリラをはじめ霊長類の研究で有名な方で、京都大学総長も務めておられました。先日、この方の本を読んでいると、興味深い記述がありました。

「友だちを作るためにはどうすればよいか？」です。普通に考えると、「優しさ」「思いやり」「自己より他人を優先」等が浮かんでくるのではないかでしょうか。このようなことを否定するわけではありません。ところが山際さんは「自己主張」を挙げておられました。意外です。しかし、これには理由があります。

例えば、ある集団に新しく加わったとします。その集団の中では、自分がどのような人間だか全く知られていません。ですから、他の人はどのようにかかわれば良いのか分からない状態です。そこで、自らの考えていることや、今までやってきたことを、まずはどんどん伝えていくのです。そうすると、周りの人から「こんな人なんだ。」と理解され、どのような絡み方をすれば良いのかを分かってくれます。結果、友だちができるということになります。これを読んだ時、「そう言えば、友だちが多い人って、自己主張をはっきりする人が多かったな。」と思いました。

保護者の皆様も子どもたちも、友だちを増やしたければ、思い切って自己主張をしてみてはどうでしょう。（ただし、「自己主張ばかりで、他人の話は全く聞かない。」は孤独という悲しい結末を招いてしまいますので、お気をつけください。）

それともうひとつ、その本の最後には友だちを作る手段として、山際さんは「食事」を挙げておられました。人間以外の動物にとっての食事は、ただ単に「栄養を摂る」が目的です。ライオンなども、集団で獲物を食べたりしていますが、あれはたまたま集まっているだけです。ところが人間はその進化の過程で、食事の目的に「コミュニケーション」が加わりました。一緒にご飯を食べることが重要なコミュニケーションツールとして使われるようになったのです。大人の世界では親睦を目的とした食事会（職場での新年会、忘年会など）が行われます。子どもにとっても、学校の給食は楽しく会話をする時間です。（コロナで黙食が求められた時は、本当に可哀そうでした。）友だちになりたければ、「一緒にご飯を食べよう。」と誘ってみるのもひとつですね。

今回は友だちを作る方法として、「自己主張」「食事」を挙げました。もし、「友だちを作りたい。」「もっと増やしたい。」と思われる方がおられれば、今回のつぶやきコーナーを参考にしていただければ幸いです。

◇お知らせ

大谷翔平選手からのグローブが本校にも届きました。早速、始業式で紹介しました。保護者の皆様にも、直接ご覧いただきたいと思いますが、その方法は検討中です。

